

稱讃 一九七号

二〇一九年五月一日発行

天上天下唯我為尊

天上天下に

ただ我ひとり尊しと為す

三界皆苦吾当安之

三界は皆苦なり

吾まさに之を安んずべし

『誕生偈』

四月八日は、灌仏会・花まつり お釈迦さまのお誕生日」でした。今月、五月二十一日は、降誕会 親鸞聖人のお誕生日」です。

お釈迦さまのお誕生をも 降誕」と言われております。私たち、浄土真宗では、親鸞聖人のお誕生を言うのですが、お他宗では、その開祖等高僧のお誕生を 降誕」と言われております。

降誕」とは、どういう意味があるのでしょうか。私たちは、この世に生まれてくることを尊く思い、喜びお祝いせずにはお

発行 浄土真宗本願寺派 稱讃 寺

〒二二〇〇七五

東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号

TEL 〇三二五二四二二〇二五

FAX 〇三二五二四二二〇二六

親鸞聖人



釈迦牟尼如来



阿弥陀如来

宗門総合振興計画「懇志のご案内

振込先 城北信用金庫 一ツ家支店

名義 浄土真宗本願寺派 稱讃寺教会

代表 北村 信也

口座 普通 6176051

れません。お誕生日、おめでとう」とお祝いの言葉であるはずの「誕」の意味は、嘘・偽り」であります。この世に生を受けることは、希であり、有り難い 有ることが難しいことなのですが、嘘・偽りの世界（三界）に生まれてくることなのです。オギャーと泣いて生まれてくることは、生まれてくるとき、泣かないとその命は危ぶまれることではあります。ある意味、嘆きなのかもしれません。生まれてくることを受け入れる側が、ただ喜ぶだけではなく、この嘘・偽りの世界に生まれて来て、我々を救ってくれる」ことに、手を合わし、尊く感謝する思いを懐くのだと思います。

特に、全ての生きとし生けるものを救わんとして生まれてこられたお釈迦さまのお誕生を「降誕」と言われるのは、真実の世界（お浄土）から嘘・偽りのこの世界に降りて来てくださった「如来」 如より来生）されたという意味があるのでしよう。

親鸞聖人が、生まれた途端は、その家族、周りの人々にとっては、尊きこととし

て受け入れられたのでありましようが、
「降誕」と言われるようになられたのは、
後々のことであることは言うまでもありません。
「降誕」と言われる根拠となるのは、
覚如上人の『御伝鈔』の「六角夢想の
段」ではないでしょうか。そこには、建
仁三年四月五日の夜、夢に六角堂の救世観
音が「行者宿報説女犯・我成玉女身被犯・
一生之間能莊嚴・臨終引導生極樂。これは
わが誓願ゆえに一切群生に聞かしむべし」
と仰せられた。その時、善信（親鸞聖人）
は夢の中にありながら御堂の正面に向かっ
て東方を見れば、険しくそびえ立つ山々が
ならび、その高い山の上に群集する数千万
億の有情に、この文の意を説き聞かせられ
たと思うと夢がさめた。全く真宗繁盛の奇
瑞、念仏弘興の表示である。略」のこ
ろではないかと思えます。というのは、
比叡山で修行中、十九歳のころ、おまえの
命はあと十年と言われ、十年目の時、六角
堂に参籠されたときのエピソードが書かれ
ているのです。一度、命が終わったのです
が、阿弥陀さまのご本願を全ての人々に説
く使命を持ったことが、「降誕」とも言え
るのではないのでしょうか。

はずのないお念仏に今遇えていることの不
思議を感謝せずにおれない思いが、親鸞聖
人のお誕生を「降誕」と言わしめた先人の
お心を思わずにはおれません。
この世に一つの生を受けることは、その
周りのものを幸せにすることであり、喜び
の中にも感謝の思いを持つことなのでしょ
うが、その思いを我々は持続しえないので
しょう。尊く感謝されて生まれて来た私で
ありながら、いつの間にか、そのことを忘
れ、生んでくれと願ったわけでもないとい
か、一人で大きくなり独立していると思ひ
上がってしまうのでしょうか。
冒頭のお言葉は「天上天下唯我為尊」で
ありますが、よく知られているのは、
「天上天下唯我独尊」であります。
この言葉の真意を私たちは間違っ
て使
い、自分が一番偉いだけの、「我が道を行
く」なんて、格好だけつけて「天上天下唯
我独尊」なんて吠えているに過ぎません。
お釈迦さまが、ルンビニーの花園でお生
まれになって、直ぐに七歩歩いて、天上
天下唯我独尊」と言われたと神格化してい
ますが、これは権威付けではなく、後々の
方々が本当に尊敬されていたからこそ、お
釈迦さまのお言葉として後世に残してい
かれたことあります。お釈迦さまがご自身
で、私がこの世でたった一人一番偉く尊い
なんて、おっしゃるはずがありませんよ
ね。そう言ったならば、誰もが引いてしま

います。
このお言葉には続きがあつて「三界皆苦
吾当安之」と続きます。天上天下唯我独
尊」だけを取り上げるものですから、なお
さら誤解してしまっているのでしょうか。一
緒にしてこのお言葉を改めて考えてみま
すと、まず「我」と「吾」の意味を調べて見
ますと、「我」は「のこぎり」と「戈」を
両手に持った自分の姿を表わし、他とは隔
絶した自分だそうです。つまり、「我執」
「我が儘」と言った煩惱を持った自分のこ
とを指します。「吾」は「りっしんべん」
を付けると「悟」であります。「我」は悟
る前の自分であり、「吾」は悟った、仏と
なった自分を言うのであります。
「尊」は「とう」といふと、呼んで、形容詞
と思ってしまうますが、仏さまを数える単
位でもあります。「二仏」を「二尊」、
「釈迦三尊」と言ったりします。つまり、
「尊」とは「仏」と解しても良いと思いま
すので、「天上天下唯我独尊」の場合は、
この世界で唯独り人間の私は仏となり、こ
の世（三界）で苦しむ人々を全て救ってい
く」という宣言でありましよう。それはお
釈迦さまだけのことではなく、「天上天
下」とは「一切衆生」のことであり、全
ての生きとし生けるものは、唯（自然に）仏
となる存在（尊い）のであり、この迷いの
世界で苦しむものを救うものである」と言
うことではないでしょうか。

平成三〇年度 稱讚寺 活動報告

総参拝数 一八三名 前年度二二五名

恒例法要 四一名 前年度四六名

七月一日 卍 永代経法要 9名

九月二四日 卍 秋季彼岸会法要 12名

二月二六日 卍 報恩講 11名

三月二四日 卍 講師 東組一樹寺 有賀良雄師
春季彼岸会法要 9名

のんのん法話会 四五名 前年度二五名

四月一六日 卍 のんのん法話会 1名

五月 卍 兼・立教開宗記念

五月一六日 卍 のんのん法話会 1名

五月二六日 卍 のんのん法話会 1名

六月 卍 兼・降誕会

六月一六日 卍 のんのん法話会 1名

六月一六日 卍 のんのん法話会 2名

七月一六日 卍 のんのん法話会 4名

八月一六日 卍 兼・歓喜会

八月一六日 卍 のんのん法話会 4名

九月 卍 兼・孟蘭盆会

九月一六日 卍 のんのん法話会 1名

九月一六日 卍 のんのん法話会 3名

九月一六日 卍 のんのん法話会 1名

一〇月一六日 卍 のんのん法話会 1名

一〇月一六日 卍 のんのん法話会 3名

十一月一六日 卍 のんのん法話会 1名

十一月一六日 卍 のんのん法話会 1名

十二月一六日 卍 のんのん法話会 3名

兼・御正忌報恩講

一月二六日 卍 のんのん法話会 1名

二月 卍 のんのん法話会 1名

二月一六日 卍 のんのん法話会 5名

二月二六日 卍 のんのん法話会 1名

三月 卍 のんのん法話会 1名

三月一六日 卍 のんのん法話会 1名

三月二六日 卍 のんのん法話会 1名

参拝者数 九七名 前年度一五四名

参拝訪問 一七名 前年度七名

法務件数 内勤 一四件 前年度二五件

参拝者数 八〇名 前年度一三六名

行事 〇名 前年度一三名

法務 外勤 七二件 前年度六九件

内・葬儀 六件 前年度四件

布教 一六件 前年度一六件

他寺院法要手伝い 二七件 前年度三三件

本山・教区・組・その他

四月 七日 卍 東組連研 2名受講

五月二二日 卍 六月二日・八月四日・一〇月六日・十二月一日・二月二日
築地本願寺宗祖降誕会

五月三十一日 金 於・築地本願寺 5名参拝
東組仏教婦人会連盟総会

六月二三日 土 於・築地本願寺 3名参加
東組会・総代世話人研修会

九月一七日 月 於・築地本願寺 4名参加
平和フォーラム

九月一八日 水 於・築地本願寺 2名聴講
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

十一月二一日 月 於・千鳥ヶ淵墓苑
一六日 金

築地本願寺宗祖報恩講出仕

於・築地本願寺

築地本願寺成道会布教大会

於・築地本願寺 1名参拝

一月一四日 月 〓 二五日 水

本山・御正忌報恩講出仕

於・本山・本願寺

東組実践運動推進協議会

於・築地本願寺 4名参加

真昌寺・稱讚寺合同法話会

講師 鶴田義光先生

生きたる仏教―安心して迷ってゆけ
ばいい―ただ念仏という生き方―

於・ムーブ町屋 3名聴講

門徒総代会

第一回 五月二六日 土

第二回 九月二四日 月

宗教法人取得への動き

五月二三日 水 都庁宗教法人担当訪問

八月 七日 水 都庁宗教法人担当訪問

一〇月一七日 水 首都圏宗務特別教区

一月二二日 月 振興金庫―資金貸付申請

二月二〇日 水 振興金庫―契約締結

土地建物抵当権解除

稱讚寺入門式受式 2名受式

※ のんのん法話会 休座が4回・参拝者無しが
9回もあり、参拝者数が年々減少しています。法
話会に限らず、報恩講をはじめとする恒例法要へ
の参拝も減少気味でありますので、宗教法人取得
に合わせて、一人ひとりのお寺になれるよう精進
して参りたいと思います。

築地本願寺

宗祖降誕会法要

のご案内

期日 五月二十一日 火

令和になつて、最初の親鸞聖人のお誕生日
降誕会）をお迎えいたします。四月は、
お釈迦さまのお誕生日 花まつり）でした
が、そのお誕生も、また聖人・高僧のお誕
生をも 降誕」と言われております。降
誕」とは、この迷いの世界に居る私たちを救
わんが為に、悟り 真理）の世界から如来
してくださったことを言われます。私たち
がこの世に生まれてくることを 誕生」と言
いますが、それは 誕 嘘・偽り」の世界に
生まれて来たことを意味し、そういう私たち
が必ず真理の世界 お浄土）に往生してい
く存在であることを教えるために、親鸞聖人
はお生まれになったのだと味わわせてもら
うのが、このご法要かと思ひます。築地本願寺
にご一緒に参拝して おめでとうございま
す」と同時に ありがとうございます」と
の思いを持ちたいと思ひますので、ご参拝し
てみませんか。

日程

- 九・五〇 築地本願寺代表挨拶
- 一〇・〇〇 築地本願寺合唱団
- 一〇・三五 楽友会仏教讃歌
- 一〇・三五 記念布教
- 柏倉学法師 千葉組真宗寺
- 阿部信幾師 群馬組西福寺
- 一・三〇 帰敬式
- 休憩
- 二・三〇 献茶式・献納楽
- 三・三五 功労者表彰式
- 四・〇〇 法要 正信念仏偈 第三種
布教 講師 苅屋光影師
備後教区深津組光行寺
- 一六・〇〇 祝賀会 一七・三〇
- 五月一七日 金 一一・〇〇～一二・三〇
しんらんさまとごどものつどい
- 五月一九日 日 一一・〇〇～一五・三〇
宗祖降誕会スカウトのつどい
- 五月二〇日 月 一二・二日 火
花盆・書道展
- 五月二二日 水 一〇・〇〇～一五・三〇
仏教なんでも彼んでも相談
- 五月二二日 火 一〇・〇〇～一五・三〇
藪内流抹茶接待

帰敬式のご案内

- 日時 五月二一日 火 一一・三〇
- 会場 築地本願寺 本堂
- 冥加金 成人 一五、〇〇〇円
- 未成年 一〇、〇〇〇円
- 懇志五千円含む

申込方法

受式をご希望の方は、稱讃寺にご連絡く
ださい。稱讃寺から築地本願寺へ申請いたし
ます。

※内願法名 法名指定）は二ヶ月前に届け
なければなりませんので、今回は、内願は
出来ません事をご了承ください。

※冥加金は当日、受付にてお納めください

稱讃寺では、五月二六日 日 午後二時か
らの のんのん法話会」において、宗祖降
誕会」を兼ねて開催しますので、ご参拝くだ
さい。



東組
組会並びに総代世話人研修会

日時 六月二三日 土 十三時受付

会場 浄光寺

足立区東伊興四十二二十六
電話 〇三三三八九九三〇八八

日程

二三・三〇 組会開会
二五・〇〇 総代世話人研修会

講師 芝田 正順 師

西組浄円寺ご住職

一六・〇〇 閉会

※組会は、組会議員 僧侶議員・門徒議員で構成されております。稱讃寺からは僧侶議員として住職がなっており、門徒議員として、川田原末廣さんが任に就いてくださっております。

※その他の総代さんにおかれましては、議員以外の方の決議権はございませんが、組会からご参加されても構いません。

※総代さん以外の方も、芝田先生のご法話をご聴聞されたい方は、研修会にご参加ください。

東組

仏教婦人会連盟 総会

日時 六月六日 木

午前十時～午後三時

会場 築地本願寺・講堂

日程 総会

仏教讃歌指導

昼食

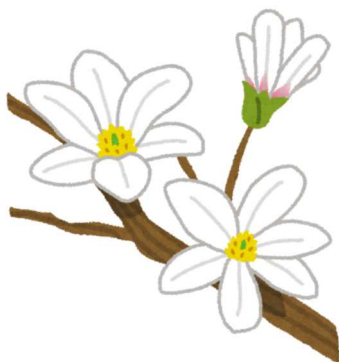
ご法話

講師 山本 昭淳 師

麻布組 長玄寺

※東組として、特別老人ホーム あそか園にタオルを贈っておりますので、参加者お一人タオル2枚をご持参ください。

※これまで石鹸も集めておりましたが、石鹸は不要となりましたことをご了解ください。



ご案内

東京教区仏教壮年会連盟総会・大会

日時 五月十一日 土

会場 築地本願寺 第二伝道会館 蓮華殿

東京教区仏教婦人会連盟総会

日時 五月二十九日 水

会場 築地本願寺 本堂

第 フロック少年連盟公開講座

日時 六月五日 水

会場 築地本願寺 講堂

中 フロック門徒子弟研修会

期日 八月十九日 月～二十日 火

会場 静岡県三島 箱根の里

築地本願寺で集合・解散

※ご参加ご希望の方は、稱讃寺までお問い合わせください。

親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年

慶讃法要

決定

二〇三年	
第一期	三月二九日 水～四月三日 月
第二期	四月〇日 月～四月五日 土
第三期	四月二四日 月～四月二九日 土
第四期	五月六日 土～五月二二日 木
第五期	五月六日 火～五月二二日 日

親鸞聖人の誕生

～降誕会・御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年～

はじめに

二〇一九年一月九日、ご門主様より 親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年についての御消息」が發布されました。本山西本願寺は、二〇二三年に親鸞聖人の誕生八五〇年を、その翌年二〇二四年には立教開宗八〇〇年を迎えます。

聖人が誕生したのは、承安三年（一二七三）です。そこから数えて八五〇年を迎えようとしています。そして現在、聖人誕生に関する行事には、降誕会があります。簡単に言えば、親鸞聖人の誕生日を祝う行事です。しかし、聖人の誕生日の確定や降誕会の創設は簡単なものではありませんでした。今回は聖人の誕生や降誕会、誕生にかかわるお話をしてみたいと思います。なお本稿で取り上げた史料は、特に指定のない場合、本願寺史料研究所保管です。

一、聖人の誕生日が決まった日

古くから日本社会においては、あまり誕生日を重視はしていませんでした。ではその中で、聖人の誕生年はどうに決められたのでしょうか。聖人は、種々の自筆本の奥書に年齢を書いていきます。その年齢を逆算して、承安三年（一二七三）と決められたのです。なぜ逆算しているかといえば、聖人の一代記である、西本願寺第三代覚如宗主作成の『親鸞伝絵』に、誕生

生年も誕生日も述べられていないからです。いつ逆算したのかは、わかりませんが、西本願寺の記録で、江戸時代中頃に成立した『御当家御代々年表略』の聖人誕生の箇所には「承安三癸巳年降誕」とあるので、これ以前です。

親鸞聖人の誕生日は、現在五月二一日となっています。これは明治に旧暦から、新暦に変更された時に定まったものです。旧暦では四月一日です。しかし前述したように中世の史料で聖人の誕生日を記したものはありません。つまりこの誕生日ももっと後に決まったのです。ではこの日は、どのように決まったのでしょうか。

真宗高田派僧侶普門作『繪伝撮要』宝永三年（一七〇六）刊）上巻に、聖人の誕生を四月朔日二誕生シ給フ」としています。また同じ高田派良空作『親鸞聖人正統伝』正徳五年（一七二五）刊）も、この日を採用しており、以後広まったと考えられます。

先の『御当家御代々年表略』の誕生箇所の横には、小さな文字で「四月一日」と加筆されています。この加筆部分は、本文と別筆です。で、当初、月日は不明だったのを、西本願寺側が高田派の説を採用し、そこに加筆したのでしょう。

この誕生日は江戸時代を通じ、明治時代にも引き継がれました。西本願寺が明治九年（一八七六）に明治政府の統計寮に提出した『本願寺歴世継統書』にも、誕生日を四月一日としています。このように、江戸時代に決まった日を、西本願寺は公式としたのでした。

二 それはここから始まった

～明治改暦～

江戸時代に決まった四月一日は、今は五月二一日ですが、どうしてこのようになったのでしょうか。これは明治時代に行われた改暦事業によるものです。改暦とは、明治五年（一八七二）一月九日、明治政府によって暦が太陰暦（旧暦）から太陽暦（新暦）へ変更された大事業を指します。

これは政府の近代化政策（西欧化）の一つとして実施されたもので、この決定により明治五年（一八七二）一月九日は、明治六年（一八七三）一月一日となり、以後、現在まで新暦が採用されています。暦の変更は旧暦の諸行事を新暦換算して実施する必要性を、西本願寺にも迫ることになりました。

西本願寺は政府の命に従い、祖師（親鸞）聖人御忌日」などの改暦を全国へ布達しました。これは明治六年（一八七三）二月八日付けで行われました。この時、印刷され全国に配布されたと考えられる『祖師祥忌告諭書』巻末には、親鸞聖人降誕の「承安三年癸巳四月朔日」を「紀元一八三三 西暦 一一七三 第五月廿 二〇」一日」、没年の「弘長二年壬戌十一月廿八日」を「紀元一千九百二十三年 西暦 一二六三」一月十六日」と示しています。ちなみに「紀元」とは「桓武天皇即位紀元」（通称皇紀）で紀元前、後の意味ではありません。西本願寺はこの改暦事業に基づき、新暦でこれまでの行事を執り行います。

降誕絵の初見は『老女日記』明治七年（一八七四）五月二一日条、当年より降誕会御祝儀」、香房日記（五月日記）同年月日条「今第十時降誕会」です。当年より」とあるように、明治七年が降誕会の始まりです。ただ

「香房日記」の降誕会は小さく付けた程度で記されており、この行事がまだ大々的なものではなかったことを推測させます。

三 降誕会の盛り上がり

明治七年に開始された「降誕会」は以後継続され、近代になると降誕会は大いに盛り上がったようです。少し明治の本山における降誕会の事例をみてみましょう。明治三十三年（一九〇〇）の降誕会『招待人名簿』には、京都府知事や京都市長、京都市地方裁判所・税務局ほかの京都市の役所関係者、堀川署長ほかの警察関係者、京都・大阪・神戸の各駅長、陸軍少将などの軍人、各種学校関係者、電信局長、新聞社、貴族院や日銀関係者などが記されています。この広範囲の招待人から、行事が政治性を持つ、一大イベントとわかります。

明治四十二年（一九〇五）五月二一日の事務綴には、西本願寺の門前 現、阿弥陀堂門前の堀川通近辺で、大活動写真（映画）の開催がみられます。映画が何かは判然としませんが、この時期は商業用映画製作の創生期に当たり、西本願寺がいち早く映画を取り入れたのは日本映画史のみでなく、西本願寺の近代的事物に対する考え方もみえてくる興味深い事実です。また「煙火」（花火）の打ち上げも確認できます。

おわりに

このように降誕会は明治初期に厳修され、大きく発展し西本願寺の重要な年中行事として定

着し、現代に至るのです。それに対して立教開宗を記念する行事は明治時代にはみられず、確認できるのは大正時代以降です。

明治九年に真宗四派 東西本願寺・専修寺・仏光寺）は、『教行信証』「化身土巻」にある元仁元年（一二二四）の年忌を立教開宗の年と決め、そこから算出して、大正一二年に立教開宗七〇〇年と設定し、初の法要を厳修しました。そしてこの記念事業として、聖人誕生の地とされる日野にあった日野別院が、日野誕生院と改称されました。同院西側には、聖人の産湯の井戸、胞衣塚もあります。

さらに遅れて、生誕何百年の法要は、昭和四八年（一九七三）の親鸞聖人御誕生八〇〇年からです。

この生誕八〇〇年の記念行事が催されたのは、時代の転換期が大きな契機でした。当時、日本社会は高度経済成長期を終え、オイルショックで混乱していました。時代の転換期であったのです。聖人の誕生した平安末期も、大きな時代の転換期であり、人びとは不安と絶望にかられていました。

聖人が時代の転換期に翻弄される人々の救いとなったこと、そして聖人が誕生した意義を、同じく混乱を極める一九七〇年代の転換期に再び見直すために、真宗十派による真宗教団連合が結成されたことを記念として、誕生八〇〇年の行事が始められたのでした。

このように聖人の誕生にまつわる行事は、すべて近代以降に成立したもので、決して古いものではありません。これは近代人が、誕生の意義に前近代とは異なる価値を見いだしたからで

しょう。新たに成立した行事は、徐々に人々の間に定着し、現代のような一大行事に発展しました。

令和という新時代を迎える今こそ、降誕会、そして「御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年」を通して前近代人にはなかった誕生という側面から、私たちは、再度、聖人の遺徳を偲ぶ機会とすべきでしょう。

文・大喜直彦 山形大学地域教育文化部教授

『樂地新報』二〇一九年五月号より抜粋

親鸞聖人のお誕生日の五月二十一日は、旧暦では四月一日となると、ふとお釈迦さまのお誕生日の四月八日は、新暦なのか旧暦なのか疑問に思いました。ちよつと調べてみますと、どうやら旧暦（中国暦）の四月八日のようで、そのまま、新暦の四月八日を日本では多く採用しているようです。本来なら新暦でいうと、五月末ぐらいになるのですが、四月八日とすり込まれているからかもしれません、何かイメージがわかないのは、私だけではないでしょう。

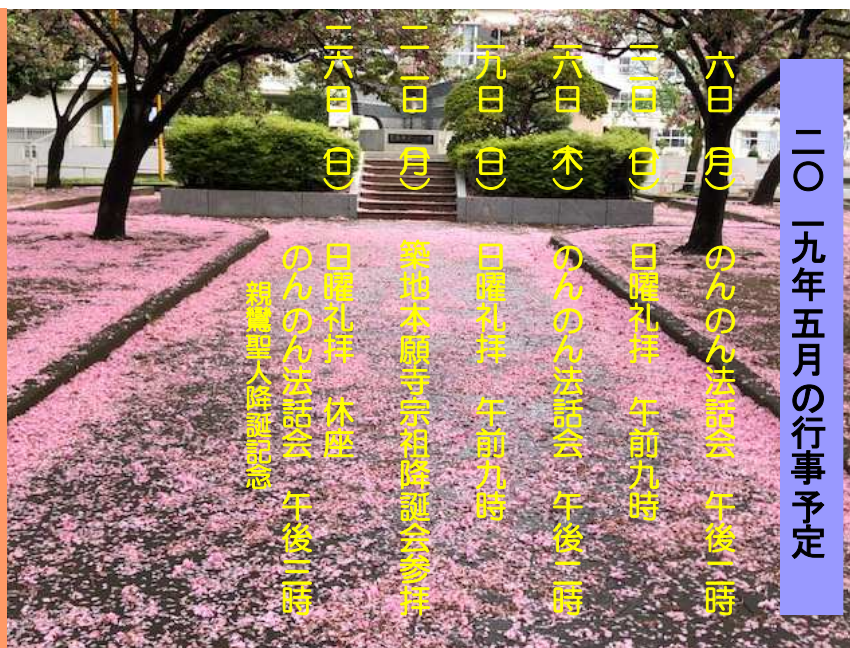
報恩講にしても、旧暦十一月二十八日が、新暦で一月十六日に定められています。私のイメージとしては、雪が降り、寒さを感じる頃のイメージが強いのですが、日本の中でも、四月や六月に行うところもあるようです。

要は日にちではないのでしよう。法要や集いを行う意義を見いだすことであると思います。

当寺では「降誕会」を単独で行ったことはありませんが、いかなる法要も仏事も仏さまを尊ぶことと心得たいと思います。

稱讃寺 行事予定

二〇一九年五月の行事予定



六日 月 のんのん法話会 午後二時

三日 日 日曜礼拝 午前九時

六日 木 のんのん法話会 午後二時

九日 日 日曜礼拝 午前九時

二二日月 築地本願寺宗祖降誕会参拝

二六日 日 日曜礼拝 休座

のんのん法話会 午後三時
釋尊聖人降誕記念

はな ひと
話したい人がいる

という 幸せ

二〇一九年 心のともしび」五月カレンダーより

二〇一九年 六月の行事予定

二日 日 日曜礼拝 午前九時

六日 木 のんのん法話会 午後二時

九日 日 日曜礼拝 午前九時

六日 日 日曜礼拝 午前九時

二三日 日 日曜礼拝 休座

二六日 水 のんのん法話会 午後三時

三〇日 日 日曜礼拝 午前九時

二〇一九年 七月の行事予定

六日 土 のんのん法話会 午後二時

七日 日 永代経法要 午後二時

四日 日 日曜礼拝 午後九時

六日 火 のんのん法話会 午後二時

二二日 日 日曜礼拝 午前九時

二六日 金 のんのん法話会 午後二時

二〇一九年 五月 法務・布教・出向予定

二日 木 平澤家法事 十時

三日 金 坂根家月忌参り 九時半

一日 土 金剛寺永代経法座 十三時

二日 日 浄泉寺降誕会法要 十時

八日 土 野原家納骨法要 十時

九日 日 外村家納骨法要 十時

二〇日 月 巽家四十九日法要 十八時

二二日 火 岩吉家法要 十時

二六日 日 築地本願寺降誕会

二六日 日 末松家一周忌法要 十時

二〇一九年度 稱讃寺門信徒会費

年会費 六千円

振込先 城北信用金庫 一ツ家支店

名義 浄土真宗本願寺派 稱讃寺教会

代表 北村 信也

口座 普通 6176051